



▲露店で買ったおいしい食べ物を片手に、ステージイベントを楽しむ来場者

定番の催しで夏を満喫
わくわく広場のほりべつUNO16
7月16日(土)・17日(日)、登別ビーチパークで『わくわく広場のほりべつ2016』（同実行委員会主催）が行われました。
青空のもと、登別オニッコマーチングバンドの演奏と共に開幕し、温泉の湯が流れる『スパスライダー』や毎年定番の『わくわく列車』では子どもたちの笑い声が絶えず、さまざまなイベントが行われたステージ前には常にたくさんの人があるなど、大きな盛り上がりを見せました。
17日(日)は天候に恵まれなかったものの、2日間わたって多彩なプログラムが行われ、来場者は思い思いに夏のイベントを楽しみました。

7/16・17

機敏に対応しヘリコプターで負傷者を救出

山岳救助合同訓練

7月7日(木)、北海道と市は、山岳地での要救助者の救命率向上を図ることを目的に、鷲別岳で負傷した登山者を北海道消防防災ヘリコプターで搬送する山岳救助合同訓練を行いました。同訓練では、市の山岳救助隊が現場に出動し、要救助者を発見後、札幌の北海道防災航空室に同ヘリコプターの出動を要請。川上公園に設けた指揮本部に着陸後、待機していた救急隊に要救助者を引き渡すなど、通信指令室への応援要請要領や山岳救助隊との各種連携について確認し合い、連携強化を図りました。

7/7



▲救助した登山者をヘリコプターから搬送する北海道防災航空隊員

できることから始めよう

第66回社会を明るくする運動メッセージ伝達式

7月4日(月)、緑陽中学校で『第66回社会を明るくする運動メッセージ伝達式』（同運動登別地区推進委員会主催）が開催されました。

この運動は、犯罪や非行を犯した人たちの立ち直りを地域で支え、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くことを目的として全国的に行われ、7月を強調月間としています。



▲仲間と共に明るい社会づくりの実現を誓う佐々木琉真くん（緑陽中学校3年生）（中央）

伝達式では、青葉小学校、富岸小学校、緑陽中学校の各代表の児童生徒が、いじめの撲滅など、自分たちにできる明るい社会の取り組みについて誓いの言葉を述べました。

7/4



▲デンマークに対する思いを発表する派遣交流団の一人、森川海輝くん

7月1日(金)、市民会館で『登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団結団式』（市主催）を開催しました。

この事業は、市内の中学生に、友好都市である『デンマーク王国ファボー・ミッドフュン市』で5泊のホームステイを体験してもらうなど、

日本とは違った生活や文化を通じて、豊かな人間性と広い視野を育むことを目的に行っています。

派遣交流団の生徒8人は、結団式で、「食文化について学びたい」など、デンマークの訪問に向けて思いを一言ずつ発表し、期待に胸を高鳴らせました。

海外を知り、日本を知る
登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団結団式

7/1